

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

基本財産である有価証券

その他有価証券・・・時価のあるものについては決算日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 商品の評価基準及び評価方法

移動平均による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 定額法を採用している。なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

什器備品 5年～10年

リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

ソフトウェア 利用可能期間(5年)に基づき、定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一定の繰入率により回収不能見込額を計上している。

特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当該事業年度に対応する見積額を計上している。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

① 所有権移転外ファイナンスリース取引

通常の売買処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

② 消費税等の処理

税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

内 訳	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
普 通 預 金	380,118	1,451,430	856,110	975,438
定 期 預 金	724,480,882	1,451,320	401,451,320	324,480,882
投 資 有 価 証 券	482,156,450	833,299,400	429,926,000	885,529,850
小 計	1,207,017,450	836,202,150	832,233,430	1,210,986,170

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 訳	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基 本 財 産				
普 通 預 金	975,438	975,438	0	0
定 期 預 金	324,480,882	324,480,882	0	0
投 資 有 価 証 券	885,529,850	885,529,850	0	0
合 計	1,210,986,170	1,210,986,170	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	56,873,719	56,046,451	827,268
リース資産	7,547,455	7,547,455	0
ソフトウェア	1,228,350	908,907	319,443
合計	65,649,524	64,502,813	1,146,711

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 該当なし

H26年度まで満期保有目的で所有していた有価証券をH27年度に売却したため、既存所有有価証券をその他有価証券に分類変更した。また、新規取得債券についてもその他有価証券に分類している。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
宮城県補助金	宮城県	0	48,000,000	48,000,000	0	-
仙台市補助金	仙台市	0	319,892,023	319,892,023	0	-
文化庁芸術振興補助金	日本芸術文化振興会	0	37,168,000	37,168,000	0	-
助成金						
マイタウン岩沼	朝日新聞社	0	50,000	50,000	0	-
マイタウン栗原	朝日新聞社	0	50,000	50,000	0	-
第309回定期演奏会助成金	アフィニス文化財団	0	500,000	500,000	0	-
負担金						
マイタウン岩沼共催負担金	岩沼市	0	1,000,000	1,000,000	0	-
マイタウン栗原共催負担金	栗原市	0	1,000,000	1,000,000	0	-
もりのみやこふれあい負担金	仙台市市民文化事業団	0	3,764,000	3,764,000	0	-
合計		0	411,424,023	411,424,023	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	4,738,376
基本財産評価損益振替額	2,782,000
合計	7,520,376

8. 関連当事者との取引
 該当無し

9. 重要な後発事象
 該当無し

10. 退職給付関係
 採用している退職給付制度の概要
 中小企業退職金共済制度に加入しているため、退職給付引当金は計上していない。

附属明細書

1. 基本財産および特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」に記載があるため、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸 倒 引 当 金	883,679	787,281	-	883,679	787,281
賞 与 引 当 金	29,111,171	25,458,366	29,111,171	-	25,458,366
合 計	29,994,850	26,245,647	29,111,171	883,679	26,245,647

(注)貸倒引当金(流動)の「当期減少額(その他)」は洗替えによる戻入額である。